

神奈川県石油コンビナート等防災アセスメント調査を受けた減災対策調査

1 目的

神奈川県石油コンビナート等防災アセスメント調査の結果を踏まえ、平常時及び地震・津波発生時における被害の発生危険度や影響度等の低減のための対策について調査し、対策の定量的な効果等についてとりまとめ、事業所等における自主的な減災対策の促進に資することを目的とする。

2 調査内容

防災アセスメント調査の結果をもとに、減災対策について、可能な限り定量的にその効果を示し、具体的な対策についてとりまとめる。

(1)定量的な評価が可能な減災対策

○災害の発生危険度を低減させるための対策（別紙1）

平成 26 年度調査で実施したイベントツリー解析（ETA）に基づいて、災害の発生危険度を低減させるための対策（緊急遮断設備の設置等）について、定量的に評価。

【既存の分岐事象での想定】

- ・ 準特定タンクの新基準への適合
- ・ 緊急遮断設備の設置、主駆動の変更及び停電時操作性の改善
- ・ 内容物移送設備の設置及び停電時操作性の改善
- ・ 仕切堤の設置
- ・ 防油堤の漏洩防止措置
- ・ 蒸発・拡散防止設備の設置

○災害の影響を低減させるための対策（別紙2）

万一発生した場合の被害の拡大を防止するための対策等（防火塀の設置等）を調査し、その実施による効果を可能な限り定量的に評価。

(2)定性的な減災対策

○長周期地震動による被害

危険物タンクのスロッシングによる溢流危険性について、溢流防止や溢流量の低減のための対策、タンク屋根部での火災による影響を低減するための対策、必要となる防災資機材の質的・量的な充実対策等について調査。

防災対応力の強化対策	平時からの対策
<ul style="list-style-type: none">○ 漏洩・火災の早期検知○ 防災資機材の質的・量的な拡充○ 消火対応の場所の確保（現場指揮を行う場所、消防隊の配置、資機材の配備等）○ 被害拡大防止のための優先順位の検討	<ul style="list-style-type: none">○ 浮き屋根耐震基準等の早期適合○ 大容量泡放射システムの実効性確認○ 危険物タンク火災を想定した防災訓練の実施○ 周辺住民への広報活動

○大規模災害

必要となる防災資機材の質的・量的な拡大対策等について整理。また、近年の重大事故の発生時の事業所及び防災関係機関における対応状況やその後の改善策等について調査し、連携体制のあり方等について整理。

防災対応力の強化対策	平時からの対策
<ul style="list-style-type: none">○ 防災資機材の質的・量的な拡充○ 災害想定に基づいた対応すべき対策の範囲、優先順位等の検討	<ul style="list-style-type: none">○ 人材育成（誤操作等のヒューマンエラー防止徹底等）○ 事故情報の共有○ 大規模災害を想定した防災訓練の実施○ 周辺住民への広報活動

○津波による被害

危険物タンクの内容物の貯蔵量管理による浮き上がり等の防止対策、特定防災施設等の機能維持・復旧対策等について整理。

防災対応力の強化対策	平時からの対策
<ul style="list-style-type: none">○ 浮き上がり防止対策○ 貯蔵量増加、アンカーボルトの設置、基礎と一体となった防油堤の設置、基礎の嵩上げ○ 電気設備の機能維持対策、高所設置、浸水防止対策	<ul style="list-style-type: none">○ 津波を想定した防災訓練の実施○ 周辺住民への広報活動

